

撒布時期 5月30日1回 落花8分位の時

右の如く消石灰ボルドウ液の効果多きを示せり。其の外七島菌甲病豫防、柿落葉病（角斑病）豫防試験等何れも成績優良なりき。

### 石灰ボルドウ液並に石灰硫黄合劑の撒布が柑橘銹壁蝨 の發生に及ぼす影響

長崎縣立農事試験場技手 澤田 榮 壽

- 1) 石灰ボルドウ液を數回撒布し早天持續する時は柑橘銹壁蝨の發生を惹起す。
- 2) 石灰ボルドウ液の濃厚なるものを撒布すれば柑橘銹壁蝨の發生激甚なり、且其程度は撒布藥劑中の生石灰の濃度と比例するものゝ如し。
- 3) 石灰ボルドウ液の撒布回数増加するに従ひ柑橘銹壁蝨の發生激甚なり。
- 4) 石灰ボルドウ液の撒布後、2回石灰硫黄合劑を撒布する時は柑橘銹壁蝨の發生を認めず。
- 5) 柑橘の開花直前及落花後の2回に石灰ボルドウ液を撒布し、6月及8月各1回石灰硫黄合劑を撒布せるものは僅少の柑橘銹壁蝨の發生を認めたるに反し、7月及7、8月の2回に石灰硫黄合劑を撒布せるものは柑橘銹壁蝨の發生を全く認めず。
- 6) 石灰硫黄合劑は柑橘銹壁蝨の驅除劑として費用比較的低廉にして、效果最も顯著なり。

### 柑橘青酸瓦斯夏期燻蒸に就て

長崎縣農林技手 森 國 三 郎

長崎縣に於ける「ヤノネ」介殼蟲及「ルビー」蠟蟲は柑橘類の2大害蟲として明治の末葉頃より西彼杵郡を中心とし全縣下の柑橘に大被害を與ふるに至り、甚だしきは全村の柑橘が殆んど枯死の状態に陥れるのみならず柑橘を新植せる地方にも漸次蔓延し其の被害益々劇甚となれり。

茲に於て縣は大正元年青酸瓦斯燻蒸法の施行計畫を樹立し、西彼杵郡伊木力村に強制命令を以て燻蒸の施行を命じ爾來大正8年迄3郡18ヶ町村に亘り主要地方に於ける強制驅除の一巡を爲し之等害蟲の慘害を免れたりしも、其後冬期燻蒸は多額の經費を要する爲め一般當業者は漸次松脂合劑、機械油乳劑等の藥劑驅除に依り僅に被害を免るゝ事に努め自發的に青酸瓦斯燻蒸を施行する者は伊木力、長興兩村の一部の熱心家に過ぎず、一時殆んど中絶する状態にあり。然れども青酸瓦斯燻蒸は機械油乳劑、松脂合劑等の藥劑驅除より其の効果遙かに優れて居る事に就ては當業者間に於て充分認識せられ居るを以て縣は各種